

## 第36回 犯罪対策閣僚会議 議事録

### 1 日時

令和5年3月17日（金）午前7時58分～午前8時11分

### 2 場所

総理大臣官邸4階大会議室

### 3 出席者

岸田内閣総理大臣

松野内閣官房長官（司会）

斉藤国土交通大臣、河野デジタル大臣、渡辺復興大臣、松本総務大臣、後藤内閣府特命担当大臣、谷国家公安委員会委員長、永岡文部科学大臣、岡田内閣府特命担当大臣、齋藤法務大臣、木原内閣官房副長官、磯崎内閣官房副長官、藤丸内閣府副大臣、山田外務副大臣、井上財務副大臣、羽生田厚生労働副大臣、野中農林水産副大臣、太田経済産業副大臣、井野防衛副大臣、中野内閣府大臣政務官、自見内閣府大臣政務官、柳本環境大臣政務官、栗生内閣官房副長官、近藤内閣法制局長官、村田内閣危機管理監、藤井内閣官房副長官補、岡野内閣官房副長官補、高橋内閣官房副長官補、出口内閣官房内閣審議官

### 4 議事内容

#### 【松野内閣官房長官】

ただ今から、第36回犯罪対策閣僚会議を開催いたします。

まず、議題（1）の「SNSで実行犯を募集する手口による強盗や特殊詐欺事案に関する緊急対策プラン」（案）について、藤井内閣官房副長官補から説明をさせます。

#### 【藤井内閣官房副長官補】

「SNSで実行犯を募集する手口による強盗や特殊詐欺事案に関する緊急対策プラン」（案）について御説明いたします。

お手元の資料を御覧ください。

昨今、「闇バイト強盗」と称される一連の強盗等の事件が広域で発生しております。

また、特殊詐欺の認知件数や被害額も増加しており、国民の間には不安感が広がっております。

そのため、今般、この種の犯罪から国民を守るため、新たに緊急対策プランを

決定することとしております。

本プランは、「実行犯を生まない」ための対策、これは「闇バイト」等情報の取締りの推進などです。そして、「実行を容易にするツールを根絶する」ための対策、これは、「闇名簿対策」の強化や携帯電話の本人確認の強化などです。さらに、「被害に遭わない環境を構築する」ための対策、「首謀者を含む被疑者を早期に検挙する」ための対策、これら4つの柱で構成されています。

「世界一安全な日本」の実現に向け、今後は、本プランに沿って、各種取組を進めていくこととしております。

御説明は以上になります。

#### 【松野内閣官房長官】

ただ今の説明に関連して、谷国家公安委員長から御発言をお願いします。

#### 【谷国家公安委員会委員長】

SNSなどを使った、いわゆる「闇バイト」を利用した強盗や特殊詐欺事件に対し、警察としては、まずもって強力な取締りを推進していく所存であります。

犯罪の実行犯のほか、その背後にいる首謀者や指示役を含めた犯罪者グループの実態の解明・検挙による国民の不安の解消に努めてまいります。

他方、この種の事件から国民の皆様を守るためには、幅広い省庁の協力をいただき、一層踏み込んだ対策を講じる必要があると認識しております。

具体的には、

- ・サイバーパトロール等を通じた「闇バイト」等情報の排除に向けた対策と取締り
- ・個人情報の不当な提供や取得、携帯電話や預貯金口座等の不正利用に対する対策
- ・犯罪者グループが高齢者に付け入る隙をなくすための対策

等に万全を期してまいります。

国民生活の基盤である安全・安心を守るため、本プランに基づく対策を強力に推進してまいります。

#### 【松野内閣官房長官】

続きまして、松本総務大臣から御発言をお願いします。

#### 【松本総務大臣】

総務省においては、特殊詐欺に使われる電話の悪用対策の観点から、悪質な電話転送事業者への対策強化や、マイナンバーカードの公的個人認証を活用した

電話契約時の本人確認の実効性確保に取り組んでまいります。

また、高齢者が被害に遭わない環境を構築する観点から、いわゆるナンバーディスプレイ等の普及拡大や、自宅電話番号の変更支援に取り組んでまいります。

さらに、実行犯を生まないために、青少年等が、SNS等に掲載された情報を通じて犯罪に加担する事態を防ぐための対策に取り組んでまいります。

【松野内閣官房長官】

続きまして、河野デジタル大臣から御発言をお願いします。

【河野デジタル大臣】

デジタル庁においては、携帯電話や電話転送サービスの契約時の本人確認の実効性の確保や、預貯金口座の不正利用防止対策の強化において、マイナンバーカードの公的個人認証機能を用いた本人確認を活用することについて、関係省庁と連携して推進してまいります。

【松野内閣官房長官】

続きまして、藤丸内閣府副大臣から御発言をお願いします。

【藤丸内閣府副大臣】

不正に譲渡された預貯金口座が特殊詐欺等の犯罪に利用されている実態がみられるところ、金融庁としても、関係省庁や金融業界と連携して、預貯金口座の不正利用防止に向けた対策を推進してまいります。

【松野内閣官房長官】

他に御意見がある方はいらっしゃいますか。

それでは、「SNSで実行犯を募集する手口による強盗や特殊詐欺事案に関する緊急対策プラン」について、本閣僚会議の決定とすることとしたいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。

【異議なし】

【松野内閣官房長官】

御異議がないようですので、原案のとおり、本閣僚会議の決定といたします。

それでは続きまして、議題（２）の「不審者の学校侵入防止対策の強化」について永岡文部科学大臣から御説明をお願いします。

**【永岡文部科学大臣】**

資料2を御覧ください。

3月1日、埼玉県戸田市の中学校に少年が侵入し、教員を切り付ける事件が発生しました。

本事案は、迅速な避難により生徒に一切被害がなかったことや、先生方が連携して犯人を確保したことなど、日頃の訓練や危機管理マニュアルの成果が発揮された側面もあると考えています。

一方、児童生徒の安全を守り、児童生徒や保護者の不安を払拭するため、

- ・不審者侵入防止の観点からの危機管理マニュアルの総点検とともに、
- ・オートロックシステムの整備等について、今後3か年、国庫補助制度を拡充し、支援を強化してまいります。

児童生徒の安全を守ることを第一に、警察とも連携し、安全確保に取り組んでまいります。

**【松野内閣官房長官】**

ありがとうございました。ただ今の御説明に関連して、谷国家公安委員長から御発言をお願いします。

**【谷国家公安委員会委員長】**

子供たちの安全安心を確保していくことは、学校、自治体、警察はもとより、社会全体に課せられた大変重要な責務と認識しております。

警察といたしましては、

- ・学校周辺における積極的な警戒・パトロール
- ・スクールサポーターを通じた学校との連携
- ・教職員を対象とした、不審者が学校に侵入した場合の対応要領の指導等を実施しているところですが、引き続き、学校の侵入防止対策についてもしっかりと協力し、子供たちの安全確保を図ってまいります。

**【松野内閣官房長官】**

続きまして、松本総務大臣から御発言をお願いします。

**【松本総務大臣】**

文部科学大臣から御発言のありました、不審者の学校侵入防止対策の強化に係る国庫補助制度の拡充に合わせて、地方財政措置も拡充し、実質的な地方負担を軽減することといたしたく存じます。

総務省としても、文部科学省と連携しながら、学校における防犯対策の強化を

推進してまいります。

**【松野内閣官房長官】**

他に御意見がある方はいらっしゃいますか。

それでは続きまして、議題（３）の「第二次再犯防止推進計画」（案）について、齋藤法務大臣から御説明をお願いします。

**【齋藤法務大臣から御説明】**

第二次再犯防止推進計画案について御説明いたします。資料３－１を御覧ください。

これまで、第一次計画に基づき、国・地方・民間が一体となった取組を推進し、２年以内に刑務所に再入所する割合に関する政府の数値目標を達成するなど、一定の成果を上げました。

一方で、再犯者率が依然として高止まりしており、引き続きの取組が必要です。

そこで、第二次計画では、「国・地方・民間の更なる連携強化」等の基本的な方向性の下、「就労・住居の確保」といった７つの重点課題を設定し、96の具体的な施策を掲げました。

安全・安心な社会の実現に向けて、本計画に掲げる施策を着実に実施していきたいと考えております。

**【松野内閣官房長官】**

ありがとうございました。ただ今の御説明に関連して、谷国家公安委員長から御発言をお願いします。

**【谷国家公安委員会委員長】**

警察においては、国民の安全・安心を確保するため、

- ・個々の非行少年の状況に応じた立ち直り支援活動
- ・ストーカー加害者への対策

等の再犯防止対策に取り組んできたところです。

本計画策定の趣旨も踏まえ、関係省庁と連携しつつ、引き続き、再犯防止に向けた諸対策を推進してまいります。

**【松野内閣官房長官】**

他に御意見がある方はいらっしゃいますか。

それでは、「第二次再犯防止推進計画」について、本閣僚会議の決定とすることとしたいと存じますが、御異議ございませんでしょうか。

【異議なし】

【松野内閣官房長官】

御異議がないようですので、原案のとおり、本閣僚会議の決定といたします。  
他に御意見のある方は御発言をお願いします。  
これからカメラが入りますので、しばらくお待ちください。

(プレス入室)

【松野内閣官房長官】

最後に、岸田内閣総理大臣から御指示を頂きます。

【岸田内閣総理大臣】

最近、SNSを使って実行犯を募集する「闇バイト強盗」と言われる強盗事件が各地で発生しています。

特殊詐欺の認知件数や被害額も増加しており、多くの国民から「自分が被害者になるのではないか」との不安の声が寄せられています。

国民の皆様の安全・安心な暮らしを守り抜くことは、政府の最大の責務です。

本日決定した緊急対策プランには、このような犯罪から国民を守るため、事件の背後にいる首謀者を含めた犯罪者グループの壊滅に向けた、警察による強力な取締りはもちろん、

- ・サイバーパトロールを通じた「闇バイト」情報の排除や名簿流出の防止対策、悪質な電話転送事業者への対策強化といった、犯罪を実行しにくくするための対策や、
  - ・「置き配」の推進や防犯性能の高い建物部品、ナンバーディスプレイの普及といった、犯罪者グループが高齢者等に付け入る隙をなくすための対策
- など、省庁の垣根を超え、緊急に取り組むべき対策を取りまとめました。

各閣僚にあっては、国民の不安を解消するため、本プランを全力で推進するようお願いを致します。

また、先日、中学校に刃物を持った少年が侵入し、教員を切りつけるという事件が発生をしました。

子供たちが過ごす学校の安全の確保は、極めて重要な課題です。

不審者の侵入を許さず、子供たちが安心して学校で学べるよう、

- ・学校の危機管理マニュアルの総点検を行うとともに、
- ・防犯カメラ、オートロックシステム、非常通報装置等の整備について、最大

限の財政的な支援を行います。

関係省庁で連携して、万全の対策を講ずるようお願いを致します。

さらに、安全・安心な社会の実現のためには、再犯防止の取組も重要です。

本日、「第二次再犯防止推進計画」を決定致しました。

地方自治体や民間の協力も得ながら、関係省庁が緊密に連携し、再犯防止にしっかりと取り組むようお願いを致します。

(プレス退室)

**【松野内閣官房長官】**

ありがとうございました。

それでは、これで本日の会議を終了いたします。

以 上